

嚙矢会行政視察報告

平成 30 年 3 月 26 日～27 日

ボートレース宮島

ONOMICCHI U2

1 ポートレース宮島の施設概要・運営状況について

昭和29年11月1日に設置され、大竹市・大野町・宮島町の1市2町で宮島競艇施行組合が運営しているが、平成17年大野・宮島町が廿日市市との合併により現在は大竹市・廿日市市の2自治体で構成されている。2市の配分は旧1市2町の出資比率を継続して大竹市25%・廿日市市75%となっている、またその施行組合には施行組合議会があり、2市の議員が数名で構成されている。平成12年頃には各競艇場にも押し寄せた売り上げの減少から廃止論もかなり強まったが、積立金は0円だったが、内部留保金を53億持っていたため立て直しの時間がかかりとれたことは大きな要因であった、今全国的に順調に推移しているが、ギャンブルには、流行りや廃りがつきものなので、5年位は凌げる積立金か内部留保金が必要だと痛感した。施設については中央スタンド棟が平成2年、東スタンド棟が平成11年、外向発売所棟が平成27年と比較的新しく当分の間は施設の改善はあっても建て替えの必要性はないようなので、その時に備えて資金の準備をしていけばいいのではないか、過去の苦い経験があるので各場とも対応をしているものと思うが、徳山も確認しておくべきと思う。過去のことを踏まえ競艇事業の最大の目的である市への繰り出しは宮島競艇においても利益に対して少なめの繰り出し額であった。徳山で今年6月に63年振りに開催されるSGレースについて宮島の担当者に伺ったところ、以前のように200億～300億の売り上げならおいしいが、最近の100億程度の売り上げならSGレースにかかる経費がかなり多くステータスとしてはいいが、収益面だけならそれほどうまみは無いとの事であった。

ONOMICCHI U2の利用者ニーズや運営状況について

ONOMICCHI U2は古い倉庫を活用したサイクリストが自転車ごと

泊まれるホテルで、民間の経営である。1943年に建てられた広島県所有の海に面した大型倉庫で近年では尾道市の雨天時のイベント会場としてだけくらいしか使用されなかった物件を広島県がもっと良い有効な使い道はないか、プロポーザルで募集し（売却ではなく賃貸貸付）2014年3月にONOMICCHI U2としてオープンした、プロポーザルには3社応募したそうだが、残り2社はどこかわからない。

U2が応募したのはその6年くらい前に尾道市内の旧家を改装して宿泊業を起業した尾道市在住の企業が新たな事業展開を目指し1999年開通したしまなみ海道が徐々に自転車道の整備が進んでサイクリングロードとして脚光を浴びるようになり、その起点が尾道市であることから尾道市がサイクリングを主とした観光開発に力を注いでいたことに相乗りした企画が広島県に評価されたのだと思う。古い倉庫を巧みに改装した全28室の全室ツインルームで他にベイカーリー・レストラン・カフェ・地元雑貨・カウンターバー・サイクルショップ等があり全てU2直営で約100人の地元雇用をしている。オープンに当たって、広島県が約3億円かけて耐震補強工事、電気・水道等のインフラ整備、空調設備工事等をしている。宿泊稼働率は75%でそのうちサイクリストの宿泊は30%である、3月中旬から10月までが繁忙期で、視察した日も1室だけが空室であった、地元の若い企業家の経営なので将来的な夢を着実に実現していて夢をもって仕事をしていると感じた。尾道市からの支援は金銭的なものはないが、市とは良い関係をついけている。

会派 嘴矢会 視察報告書 平成30年3月26日(月)

宮島競艇施設改善について

尾崎隆則

所在地＝ 広島県廿日市市宮島口1丁目15番60号

所有者＝ 宮島競艇施行組合(廿日市市・大竹市)

設置年月日＝ 昭和29年11月1日(登録第24号)

平成2年3月31日 地上6階建ての中央スタンドを建設

平成11年10月21日地上6階建ての東スタンドを建設

現在に至っている。

平成27年2月22日(日)に建設した、外向発売所(PAL BOAT 宮島)では、7:15～ナイター終了まで10場を発売している。

平成28年度に施行組合に繰り出しをしているが、比率は廿日市市73.25%・大竹市26.75%となっている。

多くの繰り出しは、金融公庫納付金に影響するとのことで、どの業界も頭を痛めていると感じた。

所感

レース観戦は来賓室であったが、投票所から離れていた場所にあり、不便を感じた。サービス面では、他場とほぼ変わりなかった。

職員は丁寧に対応してくれたと思う。

平成30年3月27日（火） 10:00～尾道U2

尾道U2サイクリストの取り組みについて 尾崎隆則

今回の視察は、総合戦略に対応できる取り組みだと思い、視察した。

この施設は昭和18年から、平成18年まで尾道市の港湾関係の倉庫として活用されていた空き倉庫を、広島県によるプロポーザル方式によって、再開発された事業である。建物自体は古いが、耐震などの整備をし、ホテルを主とし7業種の店舗で経営している。

この施設は、しまなみ海道を活用した、尾道から今治までの約70kmを自転車で走行する出発点として、チャリ旅と名打って始めたもので、国内はもとより外国人も多く、今の季節は満室状態ということ。

所感

周南市の総合戦略は、市の財産を活用していないから知名度に賭けているとしか思えない。いくらキャラバン隊を結成して全国を回っても、逆に恥になると思う。それぞれ旧2市2町の長所を生かした取り組みがなぜ出来ないのか。それを検証して、周南市をアピールすることでいくらでも知名度は上がると思っている。尾道市は的確に実証していると感じた。

H130. 3.26

宮島競艇 視察 古谷章男

所有者、施行者とも甘日市市と大竹市で構成。当時の出資金の割合で一般会計への繰出、配分金 甘日市市 73.25%
大竹市 26.75% であり 29年実績計 2億円と対している。

組合のため議会が構成され議員にも報酬が支払われている。

それぞれの市で構成されているので制度、仕組みなのでやむを得ないから二重構造に近く経費が余分に掛かっていると思われている。このことを改善できる取り組みは可能ではなかろうか。

一般会計への繰出しを増やしたいとのことだが将来への施設改善や売上げがのびない時のことを考えたいこと。このことは各競艇場とも共通の考え方も受けとれる。

H130. 3.27

ONOMICHI U2

HOTEL CYCLE 視察 古谷幸男

どのようなホテルなのか、自転車の持ち込み
宿泊という内容は少々興味をぬかした。

副社長から説明はあった。

ホテルは 県所有の倉庫を改築して建て
築後約多年経過とのことであった。

プロポーザルで3工程度が提案し採用
された事業である。

耐震空調などのインフラ整備は約3億余
で県が行ったとのこと。

もともと県と市の港湾面開発計画が
あったことでホテル前のトイレやシャワー施設
は市が以前に整備している。

賃貸契約で価格は安くしてもらっている
とのこと。

客室は20室ですべてシングルである
稼働率は約75%で利用者の約3割
が自転車での宿泊とのこと。

ホテル内にはレストラン パン屋

自転車販売、メンテナンス レンタルなど
中が広く、すべて直営であった。

また施設改善について本場への乗客や
売上げが減少化傾向であり東スタートの平成
11年10月建築されたものが最新である。
当時からの競艇場の売上げを考えると
最低限の改修工事状況と思える。

本場の発売は減少化傾向で電話外向き
発売への取り組みは一層高めること。
このことについて各競艇場場員 ~~とも~~
共通して考え方針である。

各競艇場の全体で売上げの向上する
ために協力していくことも今後の大きな
成果になるのではなからうか。

各競艇場の取り組みはファンに対する
サービス向上であるところが宮島競艇場の
取り組みにその一端を著しく強く
感じている。

サイクルバス トレラーで島へ渡りしよなみ
海道をサイクリングという企画。

しよなみ海道とサイクリングはイコール。
すべて地元資源を活用しているとの印象は
強い。尾道という市名を意識して
取り組みはまさにシティプロモーションとしての
価値感を感じさせる。と云っても過言
ではない。

下南市から尾道を視察に訪れて
いるとのこと。

CYCLEが指すものとして「時間の流れ」
「循環」「自転車」とし この土地の伝統産業
の活用としての取り組みは顕著である。
創業して24年着々と実績を上げている
こうした取り組みがいつのまにか行政と
一体的に取り組みの姿勢となっていくと
思う。

尾南市もかくあるべき姿を望むことは
無理なのであろうか。

そうあってほしいと思わせるような
感じさせる視察であらう。